

基本目標Ⅰ 安全で安心して暮らせるまち (1) ほっとわらび! 安全安心プロジェクト

数値目標	指標		現状値	実績値			目標値	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度
数値目標	家庭等における災害への備え実施率(市民意識調査)		80.3%	82.0%	82.5%	81.0%	84.3%	90%以上	政策企画室
	指標		基準値	実績値			目標値	担当課	
数値目標			平成24年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年		平成31年
	犯罪発生件数		1,367件	991件	986件	871件	765件	平成24年から10%以上削減	安全安心推進課
①自助・共助・公助の連携による防災都市づくり	KPI	指標		現状値	実績値			目標値	担当課
				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	自主防災組織による防災訓練の実施率		81.1%	83.8%	83.8%	86.5%	100%	100%	安全安心推進課
	具体的事業	事業名		取り組み内容					担当課
		家具転倒防止と感震ブレーカーの普及促進		平成27年度より家具転倒防止器具設置等補助事業を開始。補助件数は27年度15件、28年度78件、29年度8件、3年間で101件の実績となり、当初の目標を達成し、事業を終了した。感震ブレーカーは訓練等への展示による普及促進を行った。					安全安心推進課
		自主防災組織への支援強化		平成27年度、塚越小学校でモデル的に避難所運営訓練を実施し、28年度は南小学校、29年度は中央小学校、中央東小学校、30年度は北小学校で訓練を実施した。スタンドパイプについては、30年度に市内全ての自主防災会への配布が終了したため、今後は、総合防災演習や自主防災会が実施する防災訓練での展示・訓練などにより操作方法の習熟を図る(28年度に12自主防災会へ配備(5地区の自主防災会各1か所以上へ配備)、29年度に12自主防災会へ配備、30年度に13自主防災会へ配備)。					安全安心推進課
		障害のある方々などへの避難行動支援計画策定		平成27年度、個別計画を策定し、その情報を避難支援等関係者へ提供した。					安全安心推進課
公民館、市民体育館、市民会館の耐震化促進		平成27年度に東・南公民館の耐震補強工事等を実施。28～29年度に市民体育館・北町公民館・北町児童館の耐震補強等工事、また、29年度は市民会館・中央公民館・勤労青少年ホームの耐震補強等工事を実施し、該当する施設への対応は終了した。					庶務課 生涯学習スポーツ課 公民館		
上下水道の耐震化と長寿命化促進		上水道の基幹管路の耐震化率は平成30年度末時点で95.6%(29年度末92.3%)。下水道は、28年度に下水道管路長寿命化基本計画を策定。29～30年度に、第1期目の管路調査と詳細計画の策定、工事の実施設計を行い、31年度より、長寿命化対策工事を実施する。					下水道課 水道部維持管理課		
②犯罪のない明るい地域づくり	KPI	指標		現状値	実績値			目標値	担当課
				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	防犯対策の満足度(市民意識調査)		3.06(平均値3.07)	2.91(平均値2.94)	2.98(平均値3.02)	3.10(平均値3.00)	2.99(平均値3.01)	平均値以上	政策企画室
	具体的事業	事業名		取り組み内容					担当課
全ての防犯灯のLED化		平成28年度中に全防犯灯のLED化を実施。					安全安心推進課		
防犯カメラの設置		平成29年度中に通学路など公道上を中心として、市内全域に140基設置した。					安全安心推進課		

基本目標Ⅱ 豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち (2) キラリわらび！子ども未来プロジェクト

数値目標	指標	現状値		実績値			目標値	担当課	
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	出生数	597人	634人	632人	569人	529人	650人	市民課	
	保育園待機児童数	47人	33人	3人	10人	22人	0人	児童福祉課	
①産前産後のサポート体制の充実	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		子育てしやすいと思う市民の割合（市民意識調査）	46.3%	40.1%	49.2%	44.1%	52.5%	50%以上	政策企画室
		事業名	取り組み内容					担当課	
		不妊治療費助成事業	平成29年度より不妊検査費の助成について開始、30年度より不育症検査費の助成について開始した。不妊検査費の助成件数は29年度は24件、30年度は35件。不育症検査費の助成件数は30年度は2件。					保健センター	
		父子手帳配布事業	平成28年度より、希望者に父子手帳の配布を開始した。配布場所は保健センター、市民課、東公民館。28年度は496件、29年度は385件、30年度は363件に配布。					保健センター	
		ぶらっとわらびの妊婦無料化	実施に向けて、実施時期・実施方法について調査研究中。					保健センター 安全安心推進課	
		マタニティ歯科健康診査事業	平成29年度より対象者に無料受診券の配布を開始。29年度は93名、30年度は146名に実施。					保健センター	
	妊婦等癒しの音楽事業	平成28年度から、妊婦の皆さんがおなかの中の赤ちゃんと一緒にリラックスして楽しんでいただけるような、やさしい音楽のコンサートを開催。参加者数は28年度が28名、29年度は68名、30年度は75名。					保健センター		
	乳児家庭全戸訪問指導事業	子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行うため、生後4ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を対象として訪問した。実施率は平成27年度は94.8%、28年度は95.6%、29年度は98.1%、30年度は94.9%。					保健センター		
②～待機児童ゼロ～子育てしたいまちづくり	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		多子世帯保育料の軽減補助対象児童数	126人	166人	203人	232人	225人	200人	児童福祉課
		認可保育園数	7園	10園	12園	13園	13園	12園以上	児童福祉課
		事業名	取り組み内容					担当課	
		多子世帯保育料の軽減	従来より他市町村に先行して蕨市独自で実施してきた保育料軽減事業に加え、平成27年4月から埼玉県で新たに実施する「多子世帯保育料軽減事業」を合わせて拡充実施している。※同時入所している第2子以降の児童（満6歳未満）に加えて、同時入所に係らず第3子以降の児童（満3歳未満）を新たに対象とした。					児童福祉課	
		認可保育園の更なる増設と病児保育開設	認可保育園は、平成27年10月にメリーポピンズ蕨北町ルーム、28年4月に、蕨すこやか保育園、わらびさくらさくほいくえんが開園。また、29年4月には蕨ゆたか保育園が開園。病児保育については、31年4月に病児保育室にじのへやが開室。					児童福祉課	
	全ての市立保育園で土曜日の通常保育	平成28年7月より、市立保育園5園で一斉に実施。					児童福祉課		
	小学校を活用しての学童保育室増設	平成28年7月より、南小学校の教室を活用した新室を開設。29年4月には、西小学校の教室を活用した新室を開設したほか、中央東小学校の教室を一時的に活用して新室を開設。北小学校、塚越小学校は、小学校隣接地に整備した新室を29年4月に開設。					児童福祉課		
	子育てしたいまち情報発信事業	子育て世代の定住促進に向け、子育てしたいまち情報冊子（5,000部・2年間分）を平成28年10月及び30年10月に作成し、不動産業者などへ配布したほか、市ホームページに子育て世代向け特設ページを開設した。					秘書広報課		

	K P I	指標	実績値					目標値	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
③地域力を活かした 楽しい教育の実現		不登校児童生徒の解消率(現状値より10%以上解消)	不登校児童生徒数 41人	不登校児童生徒数 39人	不登校児童生徒数 40人	不登校児童生徒数 45人	不登校児童生徒数 57人	現状値より10%以上解消	学校教育課	
		事業名	取り組み内容						担当課	
	具 体 的 事 業	教育センターの整備	平成28年4月に蕨市教育センターを開設するとともに、スクールソーシャルワーカー1名を配置した。スクールソーシャルワーカーは市内小・中学校の教育相談部会等への参加を通じて連携を図るとともに、学校からの相談対応や支援を行っている。29年4月には教育センターに統括相談員1名と日本語特別支援教育支援員1名を配置し、日本語特別支援教室を開設した。日本語による会話などに困難を抱える児童生徒及び保護者の支援を行っている。また、統括相談員の配置により学校や関係機関との連携を図っている。30年4月には教育センターを中央小学校内1階へ移設し、新たに主任指導員1名を配置した。日本語特別支援教室や教育相談の充実を図るとともに、教職員の資質・指導力向上や多様化する教育上の諸課題に適切に対応できるように、様々な研修の充実を図っている。							学校教育課
		スクールソーシャルワーカーの配置								学校教育課
④次代を担う 「わらびっ 子」の健全育 成		指標	実績値					目標値	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
		アウトメディア講座参加者数	634人	403人	340人	321人	352人	700人	学校教育課	
		事業名	取り組み内容						担当課	
具 体 的 事 業	アウトメディアの更なる推進	平成23年7月に蕨市アウトメディア宣言を制定後、アウトメディア推進大会やインストラクター養成講座など、アウトメディア推進事業を実施。30年度のアウトメディア推進事業における総参加者数は、352名だった。 28年度に、子どもを様々な弊害から守るため、携帯電話・スマートフォンに関するルールを策定。29年度は、策定したルールを啓発するための取組について各校で協議を行い、今後の取組の工夫や改善について話し合った。また、29・30年度は代表校が学校で取り組んだ内容をアウトメディア推進大会で発表した。							学校教育課	
	わらび学校土曜塾及び放課後子ども教室の充実	平成30年度もわらび土曜塾、放課後子ども教室ともに市内全7小学校区で実施。わらび学校土曜塾については、7小学校区合計で172名の参加登録があり、延べ145回開催した。放課後子ども教室については、7小学校区合計で846名の参加登録があり、延べ212回開催した。							生涯学習スポーツ課	

基本目標Ⅲ みんなにわたたく健康に生活できるまち (3) イキイキわらび！健康密度日本一プロジェクト

数値目標	指標		実績値					目標値	担当課
	現状値	平成24年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年		
	健康に気配りしている市民(成人)の割合(市民意識調査)		81.7%	81.4%	79.1%	81.2%	85.2%	87%以上	政策企画室
①協働による健康まちづくりの推進	K P I	指標	現状値	実績値				目標値	担当課
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		わらび健康アップサポーター数	232人	262人	298人	330人	405人	354人以上	保健センター
		事業名	取り組み内容						担当課
	具体的事業	ウォーキングや筋トレによる健康まちづくりの推進	「ウォーキングと筋力アップで健康密度も日本一プロジェクト」として平成27年9月より実施。参加申込した市民(モニター)は、27年度150名、28年度207名、29年度210名が参加し、各年度とも医療費削減効果が検証により確認される。この事業は健康づくり事業の先進的な取組が評価され、埼玉県より3年連続表彰を受けた。30年度は健康長寿蕨市モデル事業として県コバトン健康マイレージ事業と連携し、スマートフォンでの参加を追加。284名の参加があった。						保健センター
	健康アップサポーターの養成	平成30年度は健康アップサポーター養成講座を4回実施した。						保健センター	
②市立病院の充実と健康診査・検診の促進	K P I	指標	現状値	実績値				目標値	担当課
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		各種がん検診の平均受診率	19.6%	22.1%	21.1%	21.1%	19.9%	25%以上	保健センター
		事業名	取り組み内容						担当課
	具体的事業	市立病院の地域連携と診療充実、将来構想の策定	地域医療連携担当に平成27年10月より医療ソーシャルワーカー1名、30年4月よりプロパー職員1名を配置し、地域医療連携担当の充実を図った。また、28年4月1日付けで小児科常勤医師、28年8月1日付けで整形外科常勤医師を採用した。専門外来の拡充としては、乳腺外来の診療について、28年4月より毎週木曜日の午後診療を午前・午後の1日診療とした。将来構想については、29年度に基礎調査を実施し、30年度に策定した。						市立病院事務局庶務課
	全てのがん検診の個別検診化	平成27・28・29年度は乳がん検診・大腸がん検診とともに集団検診として実施。受診勧奨方法の変更等により多くの方に受診していただいていることから、30年度も両検診とも集団検診として実施した。						保健センター	
	歯科口腔の健康づくりの推進	平成27年度から、20歳の歯科疾患予防推進事業を実施。29年度より妊婦の歯周疾患検診事業を始め、蕨戸田歯科医師会と契約を締結し、個別受診券の配布を継続実施している。						保健センター	
③だれもが自分らしくイキイキと暮らせる環境づくり	K P I	指標	現状値	実績値				目標値	担当課
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		認知症サポーター数	994人	1,340人	1,752人	1,963人	2,610人	1,200人以上	介護保険室
		事業名	取り組み内容						担当課
	具体的事業	だれもが安心して住み続けられる地域包括ケアシステムの構築	平成28年度より新しい総合事業に移行したほか、以下の取り組みを実施し、地域包括ケアシステムの構築を推進した。 ①在宅医療・介護連携に向けた、医療及び介護関係者の合同研修会、在宅医療講演会、医療・介護連携ネットワーク会議を継続して開催している。 ②認知症地域支援推進員の選任(29年4月より2名に増員)及び認知症サポーター養成講座を継続して実施している。また、28年度に認知症カフェを5か所開設するとともに、30年度より認知症初期集中支援チームを設置している。 ③生活支援体制整備を進める生活支援コーディネーターを27年度に選任。28年度・30年度に地域座談会、28年度に担い手養成研修を開催したほか、地域・福祉・ボランティア関係者による協議体を28年度に立ち上げ、その中から社会福祉協議会による有償ボランティア活動も29年度に開始された。 ④介護予防事業として、27年度より住民運営の通いの場(いきいき百歳体操教室)を開始し、30年度までに20グループ立ち上げた。						介護保険室
	地域密着型介護施設(ミニ特養)の整備	市は、特別養護老人ホームの設置を促進するため、用地提供者に対して用地確保奨励金を支出し、平成31年2月に特別養護老人ホーム「レーベンホームわらび」(広域型特養90床、ショートステイ10床)が開設。						介護保険室	
	障害者入所施設の広域的検討とグループホームの整備	障害者入所施設については、3市障害福祉連絡会議にて情報・意見交換、各障害者団体との懇談を行い、国庫補助金の確保については、平成28年9月に国、30年7月に埼玉県へ要望書を提出した。また、31年4月に川口市に新規の障害者入所施設が開設されることから、蕨市が属する南部障害保健福祉圏域内において新規に開設する入所施設に入所する蕨市民への支援の安定を図るため、当該入所施設の運営に対して、市が入所する対象者1人につき月額4万円を開設日より最大60日間補助する補助制度を創設した。グループホームの整備については、引き続きニーズの把握と様々な情報収集を行うとともに、各障害者団体との懇談を実施。						福祉総務課	

基本目標Ⅳ にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち (4) ワクワクわらび！にぎわい創出プロジェクト

数値目標	指標		基準値		実績値			目標値	担当課	
			平成24年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年		
	中心市街地における休日の歩行者自転車の通行量		41,980人	38,539人	40,969人	38,627人	41,589人	43,585人以上	商工生活室	
① 蕨ブランド戦略やシティプロモーションの推進	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	実績値 平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度までの累計	担当課	
		蕨ブランド認定数	※新規施策のため 現状値はありません	平成28年度より 実施のため0個	5個(累計)	5個(累計)	5個(累計)	5個以上	商工生活室	
	事業名		取り組み内容							担当課
	地域資源活性化・魅力発信事業		①マスコットキャラクターの活用：「ゆるキャラ@グランプリ2017」にワラビーとエンジェルわらぶーをエントリーした（ワラビー&エンジェルわらぶー179位/1421位）。また、平成28年度と29年度に世界キャラクターさみっとin羽生に参加したほか、28年度にワラビーのLINEスタンプを作成した。更に、29年度にワラビー、エンジェルわらぶーの縫いぐるみとワラビーファンシーセットを作成・販売した（エンジェルわらぶー縫いぐるみは30年度に再生産し、販売を継続）。 ②観光ガイドの作成：広く観光振興を図るため、蕨の観光名所などの地域資源を紹介する観光ガイドを平成28年3月から新たに作成し、市内公共施設や蕨市観光協会に配布した。また、日本橋にある（一財）地域活性化センター「ふるさと情報コーナー」や、埼玉県庁、南部地域振興センターに観光ガイドを配架した。 ③市制施行60周年記念事業：市制施行60周年にあたる平成31年に、市、市民団体、企業等が協働して、60周年や蕨市をPRする事業等を記念事業として実施することを予定している。30年度は、市制施行60周年記念キャッチフレーズの公募を実施し、決定したキャッチフレーズを使用したのぼり・ミニのぼりを作成した。							政策企画室 商工生活室
	蕨ブランドの創出やシティプロモーションの推進		蕨らしさを有した優れた商品を審査し、蕨ブランドとして認定する、蕨ブランド認定制度を平成28年度から開始し、市内5事業者・5件を蕨ブランドとして認定した。30年度は年間を通じて市内の各種イベントへ出展したほか、イトーヨーカ堂との協定締結により、10月25日から錦町店の蕨市PRブースにて認定品を常設展示している。また、市外へは「彩の国ビジネスアリーナ2019」へ出展し、認定品や市のPRを行うとともに、事業者同士のマッチングの機会につなげた。 販路拡大支援としては、30年7月に片品村に道の駅が開設したことに伴い、蕨ブランドブースを設けたほか、10月以降、市民体育館やスマイラ松原においても、認定品も含めた一部事業者の商品を委託販売している。また、蕨ブランド認定品パンフレットについては、販売促進につながるよう、新商品を盛り込んで毎年度2500部増刷しており、自社PRに活用していただいている。また、わらびりんごや双子織、成人式発祥の地といったまちの魅力を新聞などを通してPRしたほか、蕨市PR大使として、27年度に元AKB48の松井咲子さん、28年度に将棋女流棋士の中井広恵さん、30年度に宝塚歌劇団・真彩希帆さんに就任いただき、情報を発信していただいている。 まちの魅力発信に向け、29年3月に制作したまちのPR動画をはじめ、ケーブルテレビで放映したイベントなどの動画を配信（YouTube・市ホームページ）している。 29年3月にわらびシティプロモーション指針を作成した。							秘書広報課 政策企画室 商工生活室
子育てしたいまち情報発信事業（再掲）		子育て世代の定住促進に向け、子育てしたいまち情報冊子（5,000部・2年間分）を平成28年10月及び30年10月に作成し、不動産業者などへ配布したほか、市ホームページに子育て世代向け特設ページを開設した。							秘書広報課	
② 蕨を元気に！中心市街地の活性化	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	実績値 平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課	
		市民意識調査における「駅周辺の整備」の満足率	29.1%	21.6%	22.6%	22.2%	19.3%	36.8%	政策企画室	
	事業名		取り組み内容							担当課
中心市街地活性化基本計画の着実な推進		計画に位置付けた全42事業のうち、23事業が実施済みまたは実施中であり、進捗率は約54%。 平成30年度は、より事業の実効性を高めるため、7月に開催する「わらてまつり」と「あさがお・ほおずき市」を「蕨駅東西口活性化事業」として一体的に行うよう計画に位置付けるとともに、個人商店や商店街など市内各地で開催する「市民音楽祭」も新たに計画に位置付け、更なる発展に向けて積極的に支援していくための中活計画の変更認定手続きを行った。 また、主な事業の取り組みとして、塚越商店会が食品スーパー「ライフ」のオープンに合わせ開催した「あさがお・ほおずき市」や、蕨銀座商店街、中仙道蕨宿商店街、塚越商店会が、蕨市民音楽祭にあわせ開催した「週末にぎわい交流会事業」など、各商店街とともに各種事業を着実に推進した。 更に、30年度には、一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会による市の創業講座と連動した不動産見学ツアーや、市内の個店の魅力を再発見する商店街周遊ツアーなど、賑わい創出に向けた事業を連携して実施した。							商工生活室	
蕨の玄関口にふさわしい蕨駅西口再開発の推進		平成30年度は、蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業に係る都市計画を変更した。また、事業計画を作成するための施設建築物等基本設計など、事業化に向けた準備組合の活動に対し、必要な協議、支援を行った。							まちづくり推進室	

	K P I	指標	現状値		実績値			目標値	担当課
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	年間	
③創業支援体制の強化	I	蕨市創業支援事業計画掲載事業を受けて創業した件数	創業支援により 創業した件数 11件	6件	13件	12件	11件	19件	商工生活室
		事業名	取り組み内容						担当課
	具 体 的 事 業	創業支援・地域経済活性化事業	①コミュニティビジネス講座創業セミナーの開催：市内創業を創出し、コミュニティの形成、地域活性化、空き店舗対策につなげるため、創業を目指す者に対し、クアッカわらびチャレンジレストランを活用し、実体験をセットにした創業講座を開催した。平成30年度の受講生は12名。 ②住宅リフォーム助成の拡充：市内事業者の受注拡大を図り、地域経済の活性化につなげるため、27年度は国の交付金を活用して、従来実施していた住宅リフォーム制度について、助成割合（5%）と限度額（10万円）をそれぞれ2倍に拡充して実施した。助成件数は、27年度72件、28年度38件、29年度34件、30年度は29件。※市内事業者を活用して住宅リフォームを行おうとする個人に対する助成事業						商工生活室
		コミュニティビジネス支援事業	市内創業を創出し、コミュニティの形成、地域活性化、空き店舗対策につなげるため、創業を目指す者に対し、クアッカわらびチャレンジレストランを活用し、実体験をセットにした創業講座を開催した。平成30年度の受講生は12名。						商工生活室
	空き店舗有効活用の更なる推進	一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会による独自の物件抽出や所有者・不動産事業者との連携強化に取り組んでおり、平成30年度は2件の補助金活用実績があったが、その内の1件は、市の創業講座と連動して、講座終了後も伴走型の支援を行うことで、市内創業へとつながった。（27年度からの空き店舗有効活用事業の活用実績は累計5件）。また、29年度から、埼玉県、蕨商工会議所、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗解消に向けた空き店舗ゼロプロジェクト事業に取り組んでいる。						商工生活室	
④人材を育て活かす学びとスポーツの推進	K P I	指標	現状値		実績値			目標値	担当課
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		市主催の音楽関連事業参加人数	5,000人	5,689人	5,858人	11,426人	35,226人	5,500人以上	生涯学習スポーツ課ほか
		錦町スポーツ広場の利用人数	7,000人	13,469人	17,918人	20,910人	12,671人	14,000人以上	生涯学習スポーツ課
具 体 的 事 業	事業名	取り組み内容						担当課	
	音楽や河鍋暁斎記念美術館と連携したまちづくり	音楽によるまちづくり懇談会より提出された提言書に基づき、平成27年度から「蕨市民音楽祭」、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」、「子ども音楽大学わらび」の各事業を実施した。また、27年8月に河鍋暁斎記念美術館との連携協定を締結し、市役所や蕨駅東西口エレベーター内に企画展・特別展のチラシを掲示したほか、市ホームページに暁斎の特設サイトを設け、暁斎の紹介やWinkで放送した動画を配信。広報蕨の28年6月号からは、美術館との協働で美術館作品の紹介記事の連載を開始した。						秘書広報課 政策企画室 生涯学習スポーツ課	
	錦町スポーツ広場の人工芝化	平成28年度に人工芝化等の改修工事に係る設計をした。29年度は改修工事を実施し、完了した。						生涯学習スポーツ課	

基本目標V 快適で過ごしやすい環境にやさしいまち (5) 住マイルわらび!暮らし快適プロジェクト

数値目標	指標		現状値		実績値			目標値	担当課	
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度までの累計				
三世代ふれあい家族住宅取得支援事業により市外から転入した人数	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業により		※新規施策のため 現状値はありません	34人	61人(累計)	87人(累計)	130人(累計)	180人	建築課	
	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業により引き続き、市内に居住した人数(転出抑制効果)		※新規施策のため 現状値はありません	77人	170人(累計)	283人(累計)	388人(累計)	60人	建築課	
①三世代家族の同居等の促進と快適で魅力ある都市基盤整備の推進	指標		現状値	実績値			目標値	担当課		
	K P I	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業補助金交付件数		※新規施策のため 現状値はありません	20件	40件(累計)	66件(累計)	95件(累計)	138件	建築課
		錦町土地区画整理事業区域(85.1ha)内の整備面積		48.5ha	49.4ha	50.2ha	50.8ha	51.8ha	52.4ha	区画整理課
	事業名		取り組み内容						担当課	
	具 体 的 事 業	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業		平成27年10月、蕨市三世代ふれあい家族住宅取得補助金交付要綱を施行し事業を開始した。広報及びHP掲載、新築マンションへの宣伝活動等を行い周知に努めるとともに、29年5月には「住宅金融支援機構と蕨市の子育て支援に係る相互協力に関する協定」を締結した。						建築課
ぶらっとわらびのルート拡充		ルート拡充案の作成に向け、アンケートを実施した。アンケート配布数3,630。回収数1,768。回収率48.7%。現在、運行事業者や蕨警察署などの関係団体とルート拡充について協議中。						安全安心推進課		
錦町土地区画整理事業の推進		平成30年度は、家屋移転18戸に加え、延長353.2mの街路築造、延長150.4mの舗装新築工事等を実施した。整備面積は、30年度に1.0haの整備を行った結果、30年度末では51.8haとなった。						区画整理課		
中央第一地区まちづくり事業の推進		道路等の地区公共施設の整備を進めており、平成27年度には、中央第一ぶち広場を整備し、供用を開始した。地区公共施設整備の進捗率は、31年3月末時点で28件、約895㎡の用地を取得し81.5%とした。						まちづくり推進室		
②～エコ・コミュニティ～花いっぱいのもちづくり	指標		現状値	実績値			目標値	担当課		
	K P I	花いっぱい運動で配布した花苗数		38,000鉢	40,447鉢	43,757鉢	45,669鉢	44,873鉢	40,000鉢	安全安心推進課 道路公園課
		事業名		取り組み内容						担当課
	具 体 的 事 業	花いっぱいのまちづくり		平成30年度の花苗配布数は44,873鉢。また、公園等自主管理団体にリサイクルフラワーセンターを活用した花苗の植栽や、花壇の管理などの協力をいただき、公園等に植栽する花苗の鉢数(30年度22,614鉢)を増やしているほか、花いっぱい運動を積極的に推進している団体を表彰し功績を称えることで、各地域への波及効果や環境美化に対する意識の向上を図っている。						安全安心推進課 道路公園課
わらびりんご通りの整備		元蕨法ヶ田線のうち、幅員20m以上の区間約640mを対象にしたわらびりんごの植樹を平成29年度に完了した。わらびりんごの本数は36本となった。						区画整理課		

基本目標VI 一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち (6) わがまちわらび！市民が主役プロジェクト

数値目標	指標		現状値	実績値			目標値	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度
	まちへの愛着（市民意識調査）		72.4%	69.0%	77.2%	68.7%	73.3%	75%以上	政策企画室
①女性がいきいきと輝く環境づくり	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		ワーク・ライフ・バランス推進事業数	11事業	15事業	17事業	13事業	10事業	15事業	市民活動推進室
		事業名	取り組み内容					担当課	
	具 体 的 事 業	ワーク・ライフ・バランス推進事業	男女共同参画を身近に感じてもらう意識の向上を図るため「イクメン・料理男子フォトコンテスト」及びパネル展示、父親の家事参加に寄与する親子料理教室、孫育て講座、労働セミナー等を開催。					市民活動推進室	
	女性のライフステージに対応した多様な働き方の支援	男女共同参画啓発紙を毎年発行し、「女性の起業・働き方」や「共働き世代を支える制度等の紹介」等、多様な働き方について知っていただくための広報を全戸配布を通じて実施。					市民活動推進室		
	指導的地位における女性登用の促進	市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用し、政策・方針決定の場における女性の参画を促進することを目的に審議会等における女性の登用状況調査を実施。平成35年度（2023年）までに構成比率40%が達成できるよう全庁へ促し、平成30年度末現在で39.9%となった。					市民活動推進室		
②市民・NPO等との協働のまちづくり	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度までの累計	
		協働事業提案制度への応募件数	5件	19件（累計）	22件（累計）	26件（累計）	34件（累計）	25件	市民活動推進室
		事業名	取り組み内容					担当課	
	具 体 的 事 業	協働事業提案制度の充実	平成29年度に市民団体等に対して協働事業提案制度に関するアンケート調査を実施。その結果を踏まえ、制度内容を見直して拡充（協働の形態を補助のみに変更、継続時の補助率削減の廃止、補助限度額を30万円から50万円に引き上げ、手軽に活用いただく補助限度額10万円のコースの新設）を図り、31年度実施事業募集分から適用した。					市民活動推進室	
	防災や見守りなど民間団体・企業との連携・協定の促進	災害協定は、平成27年度2件（蕨ケーブルビジョン㈱、(公社)日本下水道管路管理業協会）、28年度は2件（埼玉司法書士会、蕨市管工事指定店組合）、29年度は3件（蕨市田舎科医師会、(株)ゼンリン、燃料小売業5社）、30年度は2件（イトーヨーカ堂、蕨市内郵便局）締結。見守り協定は27年度に3件（公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会南彩支部、布亀㈱、ワタミ㈱）、28年度に3件（医療生協さいたま生活協同組合、(株)セブン-イレブン・ジャパン、生活クラブ生活協同組合埼玉）締結した。その他、連携協定を27年度～30年度に7件締結した。					安全安心推進課 介護保険室 関係課		
	多文化共生事業	平成30年度みんなの広場として中央公民館にて意見交換会やうどんづくりを行い、6か国20人の外国人を含む79人が参加した。					秘書広報課		
	協定自治体との連携推進	蕨市及び片品村相互交流推進研究会を設置し、平成27年11月と28年4月、29年7月に意見交換会を延べ3回開催した。31年3月に栃木県大田原市と、ふれあい交流協定を締結した。					秘書広報課 政策企画室		